

日本蜘蛛学会第 49 回大会

会 期：2017 年 11 月 4 日（土）・5 日（日）

会 場：琉球大学 大学会館 3 階

日 程

11 月 4 日（土）

受 付	8:30 ~
開 会	9:00
一般講演（口頭）	9:15 ~ 11:45
写真撮影	11:45 ~ 11:55
昼 食	11:55 ~ 12:45
一般講演（口頭）	12:45 ~ 13:30
奨励賞受賞講演	13:35 ~ 14:05
ポスター発表	14:10 ~ 14:50
シンポジウム	15:00 ~ 17:00
総 会	17:10 ~ 18:00
懇親会	18:15 ~ 20:30

11 月 5 日（日）

受 付	8:30 ~
一般講演（口頭）	9:00 ~ 12:15
閉 会	12:30

役員会

11 月 3 日（金）

場所：琉球大学 50 周年記念会館 1 階

編集委員会 13:30 ~ 14:30

評議員会 14:30 ~ 16:00

自然保護委員会 16:30 ~ 17:30

大 会 案 内

受 付

- ・受付は大学会館 3 階の入り口に設置します。
- ・大会は当日参加も可能です（大会参加費：一般 3000 円、学生 2000 円）。
- ・懇親会も当日参加が可能です（懇親会費：一般 4000 円、学生 3000 円）。
- ・懇親会参加者の名札には赤丸を付けますので、受付時にご確認ください。

一般講演（口頭発表） 大学会館 3 階

- ・講演時間は 15 分です。発表 12 分、質疑 3 分を目安にしてください。10 分で 1 鈴、12 分で 2 鈴、15 分で 3 鈴を鳴らします。3 鈴が鳴りましたら直ちに講演を終えてください。
- ・講演用のファイルは Power Point 形式でご用意ください。ファイルは USB メモリー等でご持参いただき、午前に発表の方は開始時刻までに、午後に発表の方は昼食終了までに会場の発表用パソコンにコピーし、適正に映ることを確認してください。
- ・講演時の機材操作は各自でお願いいたします。

- ・手持ちの機材を利用することも可能ですが、VGA 接続アダプターを用意し、開始時刻までに接続テストをお願いします。念のため、USB メモリー等での Power Point ファイルもお持ちください。

一般講演（ポスター発表） 大学会館 3 階ロビー

- ・縦 180cm、横 90cm のポスターボードを用意します。ポスターは、4 日（土）の受付後直ぐに掲示してください。押しピンやテープ等は事務局で用意します。
- ・4 日（土）の 14:10～14:50 がポスターセッションの時間です。奇数番号の方は 14:10～14:30 まで、偶数番号の方は 14:30～14:50 までポスター前で説明をお願いします。
- ・ポスターは、可能であれば大会終了時までご掲示ください。

公開シンポジウム（大学会館 3 階）

- ・講演時間は 25 分です。20 分で 1 鈴、23 分で 2 鈴、25 分で 3 鈴を鳴らします。また、趣旨説明に 5 分、総合討論に 15 分を予定しています。

懇親会

- ・11 月 4 日（土）18:15～20:30 まで、生協北食堂にて懇親会を行います。

昼 食

- ・11 月 4 日（土）の昼食は、会場（大学会館）の隣にある生協中央食堂が利用できます。

会場への交通（詳しくは、別添の交通案内をご覧ください）

<バス>

- ・那覇空港から高速バス 111 番または 152 番（1 時間に 1 本程度、約 40 分）で「琉大入り口」下車、会場までは徒歩約 10 分。
- ・那覇バスターミナルから、バス 97 番または 98 番で「琉大北口」または「琉大駐車場」下車、徒歩 5 分。

<モノレール + タクシー>

- ・モノレール首里駅からタクシーで約 20 分、約 1500 円。

<レンタカー>

- ・那覇から約 20～30 分、会場に駐車場有。

宿 泊

各自でご手配をお願いいたします。琉球大学周辺には宿泊施設がございません。

東京クモ談話会によるエクスカージョンについて

今大会では、琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター（与那フィールド）での東京クモ談話会による採集会が実施される予定です。詳しくは、東京クモ談話会にお問い合わせください。

日 程： 2017 年 11 月 5 日（日）～ 7 日（火）

連絡先： 東京蜘蛛談話会 初芝伸吾 <mailto:hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp>

11月4日(土)

8:30 受付

9:00 開会

一般講演(口頭発表)

座長: 井原 庸

9:15 O-1 西山桂一(榑沖縄環境保全研究所)

沖縄島におけるウデナガマシラグモ *Masirana longipalpis* (Leptonetidae) の生息状況

9:30 O-2 新海明(東京都八王子市)

文献から探るクモの発生活長(クモの分布と分布拡大要因に関する仮説)

9:45 O-3 小野展嗣(国立科博・九大院地球社会)

ミャンマーのハラフシグモ類(クモ綱:クモ目)

10:00 O-4 ○山崎健史¹・Sérgio Henriques²・Phung Thi Hong Luong³・Quang Duy Hoang⁴ (1

首都大・理工, ²University Collage London, ³Institute of Ecology and Biological Resources, ⁴Tay Nguyen University)

ヒヨケムシ目の1種 *Dinorhax rostrumpsittaci* (Simon, 1877)のメスの初記録

10:15 O-5 ○谷川明男¹・須黒達巳² (1東大・農・生物多様性, ²慶應義塾幼稚舎)

ミヤコジマトタテグモのオスが判明した

座長: 谷川 明男 (学): 「学生発表賞」対象講演

10:30 O-6 (学) 長野宏紀(東農大・農)

クメジマイボブトグモの生態的知見

10:45 O-7 (学) ○福村拓哉¹・村田浩平¹・松浦朝奈¹ (1東海大・農)

畦畔管理の異なるアワ圃場におけるクモの種構成と個体数の推移

11:00 O-8 (学) ○藤田将平¹・安達修平²・Ayman K. Elsayed²・白石祥子³・徳田誠¹ (1佐賀大農・²鹿大院・連合農学・³佐賀果樹試)(学生)

クモの糸を利用するフジコナタマバエの生態と大車輪行動

11:15 O-9 (学) ○鈴木佑弥¹・横井智之² (1筑波大・生物、²筑波大・院・生命環境系)

クモ食性種サトヒメグモにおける餌捕獲成功率および捕獲成功を促す条件の検討

11:30 O-10 (学) ○相知紀史¹・野口大介²・大村尚³ (1長崎県立猶興館高校, ²ラサール高校, ³広島大学大学院・生物圏科学研究科)

ワスレナグモの毒液に含まれる揮発性成分の化学分析とその機能に関する一考察

11:45~11:55 写真撮影

11:55~12:45 昼食

一般講演（口頭発表）

座長：馬場 友希

12：45 O-11 井原 庸（一般財団法人 広島県環境保健協会）

日本海島嶼部に分布するナミハグモ属の種の組み合わせ

13：00 O-12 ○鶴崎展巨^{1,2}・柏木峻秀²・唐澤重考^{1,2}（¹鳥取大・農，²鳥取大・地域）

九州・屋久島産のアカサビザトウムシ種群の核型と分子系統解析：二重侵入仮説の却下

13：15 O-13 ○島野智之¹・蛭田眞平²・芝実³（¹法政大自然科学セ，²国立科博，³松山東雲短大）

カベアナタカラダニの系統地理学的研究（予報）³

13：35～14：05 奨励賞受賞式・講演 受賞者：原口 岳（総合地球環境学研究所）

身近なクモを糸口に、環境と生物の絡まりあった関係を考える

14：10～14：50 一般講演（ポスター発表）

P-1 ○村田浩平・植田康太・福村拓哉（東海大・農）

阿蘇地域におけるマダニの生息状況と熊本地震による牧野被害

P-2 ○鶴崎展巨^{1,2}・坂本千紘²・湯本祥平²（¹鳥取大・農，²鳥取大・地域）

東北地方における数種ザトウムシの染色体数の地理的分化

P-3 小野展嗣（国立科博・九大院地球社会）

クモ類の高次分類群の名および学名の修正について

P-4 ○西山桂一¹・島田拓²・吉田譲³・田村常雄⁴（¹株沖繩環境保全研究所，²東京都，³株PCER，⁴

特定非営利活動法人沖繩鍾乳洞協会）

南西諸島におけるオヒキコシビロザトウムシ *Parabeloniscus caudatus* (Epedanidae) の新産地

15：00～17：00 公開シンポジウム 「琉球列島の生物地理 ～様々な分類群からの最近の知見～」

15：00～15：05 趣旨説明

15：05～15：30 S-1 富永 篤（琉球大学・教育学部）

琉球列島の両生類の分化

15：30～15：55 S-2 ○中村泰之¹・Zoltán Korsós²・戸田 守³（¹琉球大学・博物館，²ハンガリー

国立自然史博，³琉球大学・熱生研）

土の中に棲むヤスデがつづる琉球列島の歴史—アマビコヤスデ属 (*Riukiaria*) とタカクワヤスデ属 (*Xystodesmus*) の系統地理

15：55～16：20 S-3 荒谷邦雄（九州大学・大学院・比較社会文化研究院）

コガネムシ上科甲虫から見た琉球列島の系統地理学

16：20～16：45 S-4 谷川明男（東大・農・生物多様性）

キムラグモ類の系統地理

16：45～17：00 総合討論

17：10～18：00 総 会（大学会館3階）

18：15～20：30 懇親会

11月5日(日)

8:30 受付

一般講演

座長：島野 智之

- 9:00 O-14 ○奥村賢一¹・小池直樹²・中野隆文³ (1長崎鶴洋高校, 2長野市, 3広島大学大学院・教育学研究科)
ペキンイオグモの正体
- 9:15 O-15 ○宮下直¹・新海明² (1東大・農, 2日能研)
ジョロウグモの網構造再考
- 9:30 O-16 ○高須賀圭三^{1,2}・宮崎勝己³・後藤彩子⁴・櫛引敬嗣⁵・小川大地⁶・安井知己⁶ (1慶大・先端研, 2神戸大・農, 3新潟大・理, 4甲南大・理工, 5島津製作所, 6神戸大・工)
クモヒメバチ幼虫の外部付着様式
- 9:45 O-17 中田兼介 (京都女子大)
なぜギンメッキゴミグモは垂体切除に失敗することがあるのか?
- 10:00 O-18 繁宮悠介 (長崎総科大)
ミナミノシマゴミグモにおける交尾行動とオスによるメス選択

座長：繁宮 悠介

- 10:15 O-19 佐藤英文 (東京家政大学)
ブナ・ミズナラ林土壌のシカによる攪乱とカニムシ相の変化
- 10:30 O-20 ○田中幸一・馬場友希 (農研機構・農業環境変動研究センター)
沖縄県の水田におけるクモ類：種組成と個体数の特徴
- 10:45 O-21 ○馬場友希・田中幸一 (農研機構 農業環境変動研究センター)
水田におけるクモ類の多様性と地理的傾向
- 11:00 O-22 ○筒井優¹・馬場友希²・田中幸一²・宮下直¹ (1東大・農, 2農研機構・農業環境変動研究センター)
水田におけるアシナガグモ属の個体数増加の仕組み～「代替餌」と「代替生息地」に着目して～

座長：筒井 優

- 11:15 O-23 鍋島百恵・田中祥勝・○安倍弘 (日大・生物資源)
カバキコマチグモとヤマトコマチグモの産卵巣の構造比較
- 11:30 O-24 ○片山詔久¹・宮澤光博²・副島武夫³・湯本政昭³・赤尾賢一³ (1名市大院・システム自然, 2農研機構, 3日本分光株式会社)
顕微ラマン法と赤外分光法による蜘蛛糸の分子構造

11 : 45 O-25 ○荒川和晴¹・河野暢明¹・藤原正幸¹・中村浩之²・大和麟太郎²・篠原麻夏²・Daniel Pedrazzoli²・高井幸¹・斧澤佑紀¹・吉田祐貴¹・阿部望美¹・石井菜穂子¹・富田勝¹ (1^o 慶大・先端生命研, 2^o Spiber (株))

クモ類網羅的シーケンシングによる超高機能発現メカニズムの解明

12 : 00 O-26 ○河野暢明¹・藤原正幸¹・中村浩之²・大和麟太郎²・篠原麻夏²・Daniel Pedrazzoli²・高井幸¹・斧澤佑紀¹・吉田祐貴¹・阿部望美¹・石井菜穂子¹・富田勝¹・荒川和晴¹ (1^o 慶大・先端生命研, 2^o Spiber (株))

マルチオミクス解析から見た蜘蛛糸の系統的多様性

12 : 15 閉会の辞

12 : 30 閉 会